

お茶の間経済

「住宅CMサービス島根」を発足

雲南市大東町の大島建材店社長の大島健作さん(56)が、五月から地域密着型ビジネス「住宅CMサービス島根」をスタートさせた。Cはコントラクション(建設)、Mはマネジメント(管理)で、住宅CMサービスとは地域で良い仕事をしている工務店と一般消費者をつなぐ「婚活の仲人のようなもの」(大島さん)。

大島建材店の 大島健作さん (大東)

同サービスは、「住まいのコンシェルジュ」として活動している経営コンサルタントの若本修治さん(広島県)が、家づくりは買うものでなく、自らが事業主となり計画を立て資金調達をする事業(プロジェクト)ととらえ、消費者の家づくりの不安解消のため、二〇〇三年に広島で始めた。全国に広がり、島根での同サービスは初めて。これから家を建てようかと考える人たちはそれぞれが違つ理想の家を思い描いている。最初に工務店に相談するとその店に家づくりも依頼してしまつことにな

家づくりを考える人のための



住宅CMサービスを展開する若本さんの著書を手

りやすい。同サービスでは、第三者の立場でそれぞれの客に合った理想的なプランをアドバイス、サポートする。工務店で建てる場合は数社を紹介し、各工務店で異なる特長やこだわり、料金などをわかりやすく比較できるようにする。相談は無料で、設計の基本プランを作成した段階で作成料が必要。住宅CMサービス島根では、新たな客と出会うチャンスを増やしたいという工務店を募り、五月に町内で工務店対象の説明会を開いた。説明会には県内の十二社が参加した。大島さんは二十三歳から家業の建材店で建材の仕事に従事。昭和

六十年代前後と比較すると、今は需要が半分になったという。同サービスは、新たな需要を掘り起こすねらいもある。今後はホームペーシを充実させるとともに、松江など各地で家づくりセミナーを開催したいと話した。

【サンフランシスコ】米アップルは7携帯電話iPhone(Aiフォン)の型「iPhone 4」を24日から日本や米など5か国で発売すと発表した。画面の像度を現行型の4倍引き上げたほか、テレビ電話機能を搭載し本体デザインも刷新厚さは現行型より3薄い9.3ミリとなった。発表会でアップルステイブ・ジョブ最高経営責任者(CO)は、「地球上でも薄いスマートフォン(高機能携帯電話)と述べ、グーグル、